

調査年月日: 2018(H30)/07/26(火) 晴れ
 調査区間: 畚岳登山口~大深山荘 (~源太ヶ岳~松川温泉)
 調査等参加者: 広野、米田、民部田、阿部



畚岳へのアプローチ



諸檜岳~前諸檜間から嶮岨森、大深岳方向眺望



ホシガラス (民部田氏撮影)



アサギマダラ (民部田氏撮影)



キアゲハ



クジャクチョウとアゲハチョウの仲間



キヌガサソウ



エゾオヤマリンドウ



クルマユリ



ハクサンシャジン

[メモ]

文責: 阿部丕顕

1 調査主眼点

- ① 登山道の状況(特に構造物)、危険箇所有無確認
- ② 誘導標等の状況確認
- ③ 眺望地点等登山道の魅力再確認

2 調査結果

(1) 総括

- ・ 国立公園八幡平を代表する縦走路区間で、刈払い等の維持管理もしっかりなされており、快適な縦走路である。

(2) 登山道の状況等について

- ・ 一部に、登山道洗掘による深掘れや、岩石が連なる河原状の区間もあった。これらは流水処理の適正化が望まれる。
- ・ 古い水切りが埋まって機能しない箇所も少なからずあるので、抜本的な補修等が望まれる。
- ・ 大深山荘付近木橋の桁折れや石沼付近木歩道の腐朽折損などもあり、早急に手当てが必要である。
- ・ 危険箇所は特に見当たらない。

(3) 誘導標等について

- ・ 設置位置や表示内容等、特に問題ないと思われた。
- ・ ただし、一部文字消えや表示プレート脱落等があるので補修したい。
- ・ できれば、英語表示等併設を検討したい。

(4) 登山道としての魅力

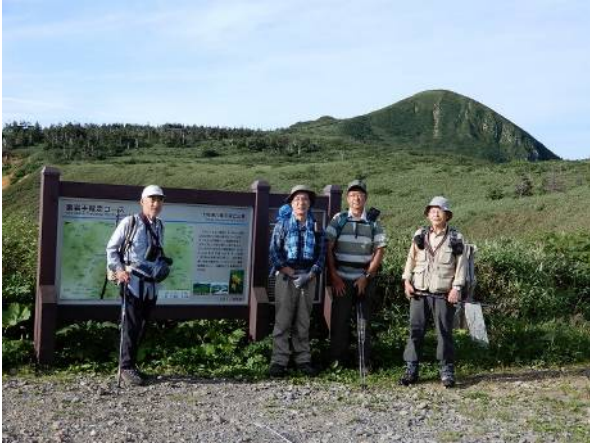
- ・ 県境尾根上の縦走路区間は高低差が比較的少なく、岩手山や秋田駒ヶ岳周辺の奥深い山並み眺望を楽しみながら歩ける快適な縦走路である。
- ・ 途中には石沼のほか小さな沼も点在し、大深山荘周辺には大深湿原や水場もある。尾根上のアオトド林やハイマツ帯、風衝草原なども併せ、多様な植生の観察にも適する。

(5) 参考

- ① 畚口~松川温泉P間 総延長約14.3Km、標高差約740m
 所要時間は約9時間(休憩含み)
 畚口から大深山荘 延長約7.9km 標高差152m

登山: 畚口~畚岳~大深山荘 約4時間45分(休憩含み)
 大深山荘から源太ヶ岳 約1時間20分(")
 下山: 源太ヶ岳~松川温泉P 約1時間45分(")

- ② 記録写真提供
 一部、民部田氏に画像提供いただいた。協力感謝。



裏岩手縦走コース案内板の前で
(畚岳登山口)
駐車可能スペース
小型車4台程度



畚岳山頂を望む登山口



左側の古い標柱



右側の標柱 (岩手県)
「←畚岳 (1.0km)」
「八幡平 (0.9km) →」



裏岩手縦走コース案内板
(環境省・岩手県)



葛根田川・玉川源流部森林生態系
保護地域案内図 (林野庁東北森林管理局)



登山口から約110m付近の標柱「畚岳登山口」
「←畚岳 (0.9km)」 (岩手県)



藤七温泉への分岐点標柱
「←畚岳 (0.7km)」 「諸檜岳2.4km」
「八幡平1.2km→」 (岩手県)



藤七温泉への道は廃道



登山道の洗掘進む
畚岳下分岐手前約110m区間



畚岳下分岐



分岐右側の標柱 (岩手県)
「←畚岳0.2km」
「八幡平1.7km→」



分岐左側の標柱 (岩手県)
「←諸檜岳1.9km」



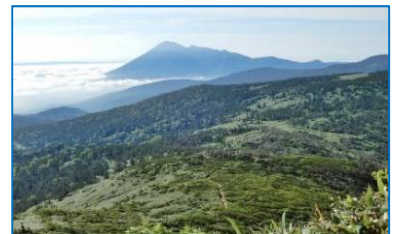
畚岳山頂にて



畚岳山頂の三等三角点



山頂標柱 (岩手県)
「畚岳山頂」 「畚岳 (1,578m)」



畚岳山頂から岩手山眺望



畚岳下分岐から諸檜岳に向かう



途中の枯れたアオトド林
(畚岳下分岐から約720m付近)



小さな沼脇の木歩道



諸檜岳標識点手前約270m地点
きれいに刈払いされている



諸檜岳標識点標柱 (岩手県) 「諸檜岳」 「畚岳分岐1.9km→」 「←嶮岨森3.1km」



諸檜岳標識点付近から秋田駒眺望



諸檜岳付近から前諸檜へ



諸檜岳頂上 (図上) 付近から 振り返る (畚岳方向)



洗掘され河原状になった登山道 石沼手前約400m付近



木柵石詰歩道L=18m W=1~1.5m 石沼手前約260m付近



石沼付近の木歩道



標柱「石沼」 (岩手県) 「←諸檜岳1.2km」 「←嶮岨森1.9km→」



石沼



石沼畔の木歩道折損 付近にもう一か所折損あり



石沼の南東約110mの沼 ミツガシワが繁茂



前諸檜標柱箇所



標柱「前諸檜」 (岩手県) 「諸檜岳1.8km→」 「←嶮岨森1.3km」



前諸檜標柱から南約170m付近



同左南約240m付近から嶮岨森展望



前諸檜標柱から約370m地点で休憩 正面に嶮岨森から大深山への稜線 素晴らしい眺めにスケッチも



同左付近から右手 (西側) に二つに見える沼が静寂の中に (実際は繋がって一つの沼)



前諸檜~嶮岨森中間地点鞍部 登山道は綺麗に刈払いされている 正面は嶮岨森



同左付近の標柱 (岩手県) 「←嶮岨森0.5km」



嶮岨森の肩から来し方を振り返る
前諸檜と茶臼岳



同左付近から岩手山方向
眼下にわずかな残雪も



同左から嶮岨森頂上 先行の人物も
右奥は秋田駒ヶ岳



嶮岨森頂上で一休み



嶮岨森の三等三角点と標柱 (岩手県)



「諸檜岳3.1km→」
「←大深岳2.9km」



嶮岨森頂上で岩手山を背景に記念撮影



嶮岨森頂上を後に大深山荘をめざす
大深山荘の屋根が光って誘う



同左から約600m付近から鏡沼俯瞰
奥は前諸檜と茶臼岳



標柱 (岩手県)



「←大深山荘0.8km」



「嶮岨森0.8km→」



機能不全の水切り
大深山荘手前約300m付近
この前後に数ヶ所同様の水切りあり



大深山荘手前約140m 付近湿地と木歩道



山荘直前の沢に架かる木歩道橋
桁受台が破損し歩道板が折れている



大深山荘



大深山荘に到着 (今回の踏査終点)

<参考>大深山荘～大深湿原～源太ヶ岳～松川温泉当該区間は調査済みのため参考までに写真添付



大深湿原の水場
付近はニッコウキスゲが美しい

木橋桁折れ (大深山荘から約260m付近)
脇を通れるので特に支障ないが・・・



大深岳・源太ヶ岳分岐
(右:大深岳、左:源太ヶ岳)

同左分岐標柱 「松川温泉5.0km→」
「←三ツ石山荘5.3km」
「大深山荘を経て藤七温泉9.2km→」

分岐から源太ヶ岳方向
きれいに刈り払われている登山道

分岐から約270m付近



登山道整備中の自然公園保護管理員平山さん

平山さんに感謝し、記念撮影

源太ヶ岳頂上で一休み



大深山荘への分岐点

水場でひと息

架け替えられた丸森川の橋だが・・・



橋に引っかかった流木等除去
(平山さんと広野氏)

橋脚基礎が布団籠なので
流下断面(幅)が狭められている。
越流を想定した構造だが、管理が
不十分になるとダムになる危険性大。

ダケカンパ巨木

松川温泉、源太ヶ岳登山口到着
「お疲れさん！」